

『輝く雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2016年8月
第66号



さあ 夏休み!

今日も元気にラジオ体操

主な
内
容

- ◎いよいよ始動
多機能型総合センター [第2回 定例会] 2ページ
- ◎パワーアップ ファクトリー
(色彩選別機導入) [第6回 臨時会] 3ページ
- ◎子育て世帯の車に支援を 一般質問 6ページ

平成28年 第2回 定例会 6月16日・17日

6月16日から平成28年の第2回定例会が開催されました。

上程された主な議案

◎平成27年度、一般会計補正予算の専決処分を承認しました。

3月31日付けで、前年度予算が最終補正されました。総額で52億7830万円となりました。

基金の取り崩しを止めて一般財源を充当しました。

3億1176万円

ふるさと納税で本町に寄せられた寄付を、振興基金に積み立てました。

8012万円

これにより平成28年度への繰越金は、約1億2000万円となりました。

◎平成28年度、一般会計補正予算の専決処分を承認しました。

国の新事業に合わせて補正計上をしました。

・結婚新生活応援事業

232万円

◎一般会計補正予算

1億8495万円を追加し総額を49億6727万円としました。

主な内容

地域密着多機能型総合センター関係（以下3件）

・診療施設建設に伴う、LAN環境の構築、電話設備工事等

1656万円

・通所サービスセンター建設工事費

9305万円

・あんしんセンター建設工事費

5497万円

・アイヌ沢法面改修工事費
660万円
・ほたる学習館屋根等改修工事費
162万円

追加議案

・スノー・クール・ライズ・ファクトリーの、色彩選別機等改修工事費
4億5545万円

・公共下水道特別会計繰出金（国道275号線旭町下水道管移設工事）
812万円

これにより、一般会計の予算総額は54億3085万円となりました。

◎特別会計補正予算

6特別会計で、平成28年度への繰越金の精査が行われました。

提出され可決した条例

◎町税条例の一部改正

国の地方税法に合わせ改正されました。

◎国民健康保険条例の一部改正

専決処分の承認

道の改正に伴い、課税限度額の見直し、課税軽減措置の拡大等を改正しました。

◎過疎地域自立促進市町村計画の変更

地域密着多機能型総合センターの二期工事に向けて、過疎計画の見直しを行いました。

◎固定資産評価審査委員会条例の制定

今まで規定で運用していましたが、条例として制定しました。

◎国民健康保険条例の一部改正

保険税率の改訂がされました。

◎選挙ポスター掲示場設置条例の一部改正

投票所が健康福祉総合センターに統合されました。また、ポスター掲示場が9ヶ所になりました。

その他

◎選挙管理委員の選挙

指名推薦により、新たに選任されました。任期は4年です（詳細は8頁）。

◎株式会社沼田開発公社（沼田自動車学校）の決算書類と事業計画が提出されました。



第4回臨時会 ● 6月7日

以下の工事について請負契約を締結するための議決を行いました。

地域密着多機能型総合センター事業（沼田町立厚生クリニック）

・建築主体工事

2億1800万円

・電気設備工事

7128万円

・機械設備工事

5300万円

車両センター第2車庫整備工事（除雪車両車庫）

8370万円



建設が進む第2車両センター

第5回臨時会 ● 6月29日

平成28年度一般会計補正予算

・商業コミュニティ中核施設整備事業

7541万円増

国の補助金減額に伴い、町の負担金を増額しました。



質問する久保議員

第6回臨時会 ● 7月25日

以下の工事について請負契約を締結するための議決を行いました。

米穀低温貯留乾燥調整施設色彩選別機等整備工事

4億991万円

地域密着多機能型総合センター整備事業、地域あんしんセンター、デイサービスセンター（建築主体工事）

2億8500万円

整備事業、他（機械設備工事）

6400万円

専決処分とは



議会が開けないやむを得ない場合に限り、町長は議会に代わって議決と同じ効力をもつ専決をすることができます。

ただし、首長が専決権を乱用しないようにその行使には慎重さと議会への報告が求められています。現在では、緊急性を要する場合に限定されています。

傍聴席の生の声

民意の代表である議員さんと町長の論戦を聞きたい最後にはまとまってしまう感じである。 50代・男性



質問する高田議員

今回の定例議会の傍聴者は、10名でした。

皆様の傍聴をお待ちしています。お気軽に、御来場ください。

町長への一般質問

問 コンパクトエコタウン構想は 実現できるのか

答 財政状況を勘案しながら着実に進める



高田 勲
議員

ました。

多額の金額を、町の単費でまかなわなければなりません。コンサルタント会社からのアドバイスもあり戦略交付金を獲得しましたが、過剰に評価をしてあてにしたのではないかと。

結果的に1億4300万円の持ち出しが増えました。町民に説明した計画と差が発生した訳ですが、今後どのようにしてこの差を埋めていくのか。

平成26年に内閣府のモデルケースに指定され、地域再生計画として認定されたコンパクトエコタウン構想ですが、今後どのように進めていくのか。



今回の国の制度変更には憂慮しています。同時進行している

商業施設も含め、地域密着多機能型総合センターは町の将来に欠かせない施設です。

戦略交付金については、計画段階で補助メニューが無かったため、事業採択に向けた努力をしました。最良な手段であったと判断しています。

制度変更による自治体への影響は、国も道も理解しています。今後、特別交付税などの上乗せを要求して、町の持ち出しを極力少なくする努力をします。

国の補助事業を活用出来る優位性は不変です。財政状況を見ながら、計画を進める。

問 病院が町立になった 町民のメリットは何か

答 新施設での運営方法を関係機関と検討中



久保 元宏
議員

いが働き、町民サービスが萎縮しないのか。

今回の計画は国が定めた補助要項に合致していると思いますが、申請にも至らなかった現実に対してどのように考えているのか。

厚生病院が町立になり、そこに介護施設などが加わります。これは町民にとってのメリットであり立派なソフト事業と考えます。

また、町立病院になった今、町民のメリットを具体的に示すべきと思うが町長の考えを聞きたい。



町民サービスを後退させるわけにはいきません。建設事業を含めしっかりと進めて参ります。

国からは多くの事例が提示されていますが、今回は補助要件に合致していないと考えています。

地域密着多機能型総合センターは、医療と地域包括ケアそして子育て支援を総合的に向上させるのが目的です。一方で投資効果も国から評価されます。様々な観点からチェックを受けるため、得策ではないと判断しました。

各戸配布しました「安心センター情報」に利用例を提示させていただきました。オープンに向けて検討を進めています。



完成予想図

つながるデザイン展のようす

問 農業者の社会保障と経営継承対策の充実

答 農業関係団体に働きかけていきたい



杉本 邦雄
議員

問 農業者が、社会保障を通して後継者にスムーズに農地や経営が移譲できるように、農業者年金が改正され移譲後もゆとりのある生活ができるように考えられているが、それだけでは十分ではない。

年金受給の男女差の問題が現況にある。農業委員会も既に考えていると思うが、男女間の比率、奨励指導はどのようにされてきたか聞きたい。

また、農業者の小規模企業共済の加入の比率、農業委員会を取り上げた経過、積立金の経営利用や経営移譲の退職金としての継承対策の理解と節税対策などの指導の状況を聞きたい。



この問題に関しては農業後継者対策も含め安心して農業ができる体制を作る事が基本だと思いますので、社会保障の自立、農業の経営移譲後の老後が保障されよう、関係機関と連携を取り、農業関係団体に働きかけていきたいと考えています。

新農業者年金は積立方式になり、より確実に優位な年金になりました。政策支援という形で国からも支援がでるようになっていきます。農業委員会としては、説明会などで提示していますが、有利とわかっていながらも大きな金額を積むのは難しいと考えております。

山岡農業委員会会長

小規模共済については、

杉本邦雄議員のその他の質問

問 第9次農業振興計画作成にあたっての戦略の考え方は

答 加工も含め新たな取り組みを検討して取り入れたい



今年も豊作でありますように

推めていないが退職金という意味ではスムーズな継承ができる為にもこういう制度が必要なので、周知していきたい。

農業者全体の人数465名中、年金加入者数が128名です。男性が27・5%、女性が5・4%で25名です。小規模共済の農業者の加入件数は、33件で、現在農業者戸数が161戸なので、20・5%です。この中で家族での加入者は8件です。

問 防災対策の充実を

答 二歩取り組んでいきたい



小 峯 聡
議員

問 沼田でも過去に震源地となった地震も起きており、水害も何回かありました。

本町でも防災計画が立てられ、防災対策が行われていますが、災害が起きた時にはまだ不十分であると考

えています。細かな想定をして災害に備える必要があると思いますが、町として今現在災害が起きた場合にどのような問題点があると把握しているのか聞きたい。

意識を高めなければいけないと思っています。全体的に防災意識が低いのが問題です。

普段から防災意識を持ってもらうかを、各行政区とも連携しながら、地道に一歩一歩取り組んでいきたいと考えています。

様々な機会を通じて、家庭、地域それから各組織も含めて、防災の意識を高める活動を更に進めていきたい。



災害を経験した職員も少ないので、風化しないように



防災セミナーのようす

問 社会保障は国の義務 強く要求を

答 国の政策を見ながら進めたい



橋場 守
議員

しっかりとした人員態勢をとってほしい。
同時に国に対して要求すべきではないか。

問 介護保険（要支援1・2）の通所・訪問

介護の給付をはずして自治体の予算で実施せよと言うことになります。

しかし、すべて

の生活面において社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上増進に努めなければならないと憲法25条で国に対して命令しています。これは、国民が互に助け合う自助や共助とは別問題です。

介護の仕事は専門性が要求され、ボランティアによって介護を進める危険もある。



国全体として社会保障費の増大は懸念している。
新給付事業は来年度から新施設で実施できるようデイスターセンターを中心

に準備をしている。

介護にはマンパワーが必要なので介護支援ボランティアの体制も含め国の政策を見ながら進めたいと思う。

橋場守議員のその他の質問

問 食品衛生上からTPPに反対しては

答 意見は述べていきたい

問 核兵器廃絶の運動を

答 検討していきたい

問 町立診療所の医師の今後の手配は

答 厚生連と協議して対応したい

問 子育て支援パスポート事業の実行 答 早めに取り組みたい



大沼 恒雄
議員

問 平成28年4月1日から子育て支援パスポート事業の全国共通展開が始

っています。内閣府では少子化対策の一環として平成29年4月には全国の地域で子育て世帯がサービスを受けられるように取り組んでいます。社会全体で子育て世帯を応援し子育てへの社会的機運をつくり出すことを目的とするなら沼田町も

協賛し早急に対応するべきだと思います。

また、少子化社会対策大綱では「地域の実情に即した取組強化」を支援するとしています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。

多子家庭では、ワンボックスカーの購入が必要となり車関係の支払いが家計の負担になっています。



子育てにやさしい町を目指す一環としてこの事



業も実施できれば良いと思っています。論議を具体的にしているないので、今後、どうしたら良いのかも含めて子育て政策の一環としての位置づけを持ち、前向きに取り組みたいと思っています。

車の件は独自の政策も必要と思うので、色々と検討し、早めにお知らせできればと思っています。

北海道町村議会議員研修



毎年恒例の3つの議員研修会に参加してきました。

「人を動かし、まちを動かす」

石川県羽咋市の公務員時代、地方の過疎問題・地域おこし活動・限界集落を元気にして来ました。

ローマ法王に米を食べてもらったり、お酒の飲める女子大生限定で民泊をさせるなど、地域おこしの経験談を聞きました。

テレビドラマ「ナポレオンの村」原作



高野 誠鮮
立正大学客員教授

「日本の行方～政局・政治展望」

テレビ「そこまで言って委員会」で政局に対するコメントで有名です。

安倍政権の重要課題とその背景、政局の内幕と今後の見通し、日本が今後どうあるべきかについて、国際情勢を交えての講演でした。今後は中国外交がキーポイントとのことです。



長谷川 幸洋
東京新聞・中日新聞論説副主幹



岸 邦宏
北海道大学
工学研究院准教授

空知町村議会議員研修

7月26日 新十津川町

「これからの地域公共交通の在り方を考える」

北海道の10年後、20年後を考えた持続可能な公共交通について教授しました。



内貴 滋
帝京大学教授

北空知議会議員研修

7月19日 沼田町

「日本の地方議会と役割」

一村一品運動・ふるさと創生・から地方創生への対応。

地域を思う心こそ何にも代えがたい政策の原点とのことです。



所管事務調査を「化石の可能性」について調査をすることとし、7月15日に幌新太刀別川の化石発掘現場で篠原主幹・田中学芸員より説明を受けました。

ここからは500万年前のタカハシホタテ、ネズミイルカなどが採種されています。

沼田町は全国的に見ても、貴重な化石の宝庫です。

総務民教常任委員会

新たに選挙管理委員 が決まる

任期満了に伴い選挙管理委員の選挙が行われました。前任者の方が4人とも勇退されました。大変ご苦勞様でした。

指名推選により新たに次の方々に決まりました。

▼委員長

堀 裕昭氏

▼委員長職務代理者

辻 廣治氏

▼委員

杉森 司氏

谷水敏和氏



退任議員との 親睦パークゴルフ大会

7月9日に退任議員との親睦パークゴルフ大会を行いました。

ホールインワンが出たりOBもあり、笑いにつつまれた大会でした。

終了後成績発表と懇親会が行われ、大先輩方と楽しい時間を過ごしました。成績は下記の通りです。

優勝	津川 均
第2位	吉田 好宏
第3位	谷口 清治
ホールインワン	吉田 好宏
	谷口 清治



あとがき

今年の5月には30度を超える日が何日かあって、田植えの最中にどうなっているのかと思いました。これからしばらく暑い日が続くのかなと思っていましたが、その後は低温曇天が続き6月は寒いぐらいでした。水田の稲は5月20日以前に植えた稲と21日以後に植えた稲では生育が4〜7日の差があるそうです。平年より早めに始まった田植え作業でしたが、今では平年並の生育になっているように思います。皆さんの家庭菜園の野菜や作物はいかがでしょうか？

地球温暖化の影響か、ラニーニャの影響か、極端な天候になっていますが、これから8月、9月は暑い日が続いていい出来秋になることを願います。

みんなの広場

最近思うこと



町立沼田厚生クリニック院長 島本 勝司

私は、平成21年から沼田に住民票を置き、昨年から院長の島本です。

イギリスのEU離脱が第1次世界大戦の引き金になる1914年の「サラエボ事件」に相当するのではと心配です。一方の見方では、EU体制は今後15年も維持できないので沈みゆく泥船からいち早くイギリスは脱出したとも考えられます。ヨーロッパの混沌はこれから始まり、引き続きロシアや中国が食指を動かすのかもしれませんが。一方アメリカでは、銃乱射や白人警察と黒人との発砲事件。これらの件は私の想像力を超えています。上位1%の富裕層の富が、下位90%の資産を上回りウォール街でデモ。ごく普通の中間層が病氣・けが・リストラでたちまち窮乏生活に陥る事実はテレビ・新聞で紹介されています。最近「大草原の小さな家」というアメリカTVドラマをDVDと小説で堪能しました。それにより、自由・自主・独立は自分達で勝ち取り政府からの援助・干渉を極力嫌う開拓精神が手に取るように分かりました。当時、家族を守り、家畜を守り、食料を得るための銃所持は当然でした。また、今のアメリカに国民皆保険が根付かないのもよく分かるようになりました。要は「自分のことは自分です」ということです。そこで、その延長線上に今回共和党の代表となったドナルド・トランプ氏があるのだと思います。また、大統領にトランプ氏、クリントン氏のどちらが就任しても、TPPには二人とも積極的ではなく交渉ははるか遠くになった模様です。東アジアでは、中国の南シナ海への覇権拡大。北朝鮮は3本の弾道ミサイルを発射しています（7月19日）。何か世界中にマイナスのエネルギーが充満しておりいつか爆発しそうな気がしてなりません。明日の食べ物を心配せず安心して沼田に住み、平和裏に終わるであろうブラジルのオリンピックを楽しみにしながら筆をおきます。

広報特別委員

大沼恒雄 高田 勲
小峯 聡 長原 誠
鵜野範之